

9-5

だいじ お大事に



活動

いしゃ がっこう いむしつ せんせい
医者や学校の医務室の先生に
びょうき ひと しじ
なって、病気の人に指示をする。

かたち



時間

せつめい編

(文-16 Vてください)

文-27 NがAい / ANです

文-29 Vないてください

活-04 Vない形

談話の技術

- ・ 応答する (それはいけませんね)
- ・ 会話を終わる (お大事に)

準備するもの

使うことば

いしゃ びょうき あたま いた かぜ くすり
医者、病気、頭、痛い、風邪をひく、薬を
の ぶる なか は め あし
飲む、(お風呂)に、お腹、(歯)目、足、
のど*、気持ち*、悪い、よく、休む、
きも わる やす
けが、つける

どうしましたか / それはいけませんね /
だいじ
お大事に

手 順

1. クラス全体で、病気のときにしないこと、
することを母語で話し合う。練習で使う
ことばや表現を日本語で何というか確認
する。
2. 病気の人役の学習者は自分の病状を決
める。
3. 医者役の学習者は <モデルテキスト>
のように、病状についてたずね、した方
がいいこととしない方がいいことを1つ
ずつ言う。
4. アドバイスを聞いた学習者は、アドバイ
スをメモする。
5. 役割を交替する。
6. 学習者は、どんなアドバイスを受けたか
を発表する。

モデルテキスト

いしゃ : どう しましたか。

びょう気き ひとの人 : 目めが いたい です。

いしゃ : それは いけませんね。長い時間なが じ かん テレビを 見みないで
ください。よく ねて ください。

びょう気き ひとの人 : はい、そう します。

いしゃ : おだいじに。

いしゃ : どう しましたか。

びょう気き ひとの人 : ききのうから あたまが いたい です。

いしゃ : それは いけませんね。この くすりを 飲のんで ください。
きょうは おふるに 入はいらないで ください。

びょう気き ひとの人 : はい、そう します。

いしゃ : おだいじに。

バリエーション

(1) <手順てじゆん>の6の代かわりに、ペアで会かい話わ
を 発は表ひょうする。

(2) 学がく習しゅう者しゃはほかの 人ひととペアになり、<手て順じゆん>の3~5をくりかえす。教きょう師しは、
学がく習しゅう者しゃが2、3人にんと練れん習しゅうしたことを 確かく認にん
したら、席せきにもどるよういに 言いう。

先生へ

・指示しじの例れいとして、以下いのようかなものがある。

気き持もちが 悪わるい... 部へ屋やで 休やすむ、外そとで 遊あそばない。

足あしに けが を した... 薬くすりを つける、走はしらない。

・病びょう気きの 時たいの 対たい処しよは 国くにによっても 文ぶん化かによっても 異ことなる こと に 注ちゅう意い。こ っ ち へ は 学がく習しゅう者しゃの 国くにの
習しゅう慣かんで かまわ ない。